

## 2 主な事業

平成17年度は、4つの目標達成のため、次の主要事業・施策に取り組みます。

### 『自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）』

#### 【平成17年度の完成・供用、新規事業】

##### （直轄事業）

那覇空港から豊見城地先開発事業（豊崎地区）へのアクセス強化及び交通混雑の緩和等を図る「沖縄西海岸道路（豊見城道路）」の一部区間（L=2.2km、残0.7km）の暫定2車線供用を目指します。

（P15）【道路】

中城港湾マリンタウンプロジェクト（与那原地区）内の道路ネットワークの形成を図る「与那原バイパス」の一部区間（L=0.5km、残3.7km）の暫定2車線供用を目指します。

（P16）【道路】

那覇港における効率的な物流体系を形成し、交通渋滞緩和を図る「那覇港臨港道路（浦添線）」の整備事業に新規に着手します。

（P17）【港湾】

那覇港トランシップ港湾の実現による国際競争力の向上、物流機能の効率化を図るため、「国際海上コンテナターミナル」の完成を目指します。

（P18）【港湾】

石垣港において、大型クルーズ船に対応した港湾施設として「石垣港大型国際旅客船ターミナル」の整備事業に新規に着手します。

（P19）【港湾】

主要な観光拠点である首里城公園において、沖縄の歴史・文化の更なる普及啓蒙を促進するため、「書院・鎖之間」復元整備の完成を目指します。

（P20）【公園】

##### （補助事業）

宮古島の中心部を縦貫する平良市から城辺町に至る「平良城辺線」において、防災性の向上と良好な景観の創出として、電線共同溝事業を新規に着手します。

（P21）【道路】

中城港湾と沖縄環状線の嘉手納基地ゲート付近とを接続し、沖縄市の東西骨格軸を担う主要な幹線道路となる「都市計画道路 胡屋泡瀬線」の整備を新規に着手します。  
( P 2 2 ) 【 道路 】

読谷村において、海洋性リゾート拠点として整備を推進してきた「宇座海岸環境整備事業」の完成を目指します。  
( P 2 3 ) 【 河川 】

与那原町のマリンタウン埋立地内の住宅・商業地区等のスポーツ・レクリエーションの拠点となる「マリンタウンC公園」の整備を新規に着手します。  
( P 2 4 ) 【 公園 】

浦添市のスポーツ・レクリエーションの拠点として整備を推進してきた「浦添運動公園」の全部供用を目指します。  
( P 2 5 ) 【 公園 】

【 継 続 事 業 】

代表的な継続事業（直轄事業） 一般国道506号豊見城東道路 ( P 2 6 )  
那覇港那覇ふ頭地区臨港道路（空港線）・沖縄西海岸道路（那覇西道路）( P 2 7 ) ( P 2 8 )  
一般国道329号石川地区電線共同溝 ( P 2 9 )  
那覇空港の整備（滑走路改良） ( P 3 0 )

( 補助事業 ) 一般国道507号津嘉山バイパス ( P 3 1 )

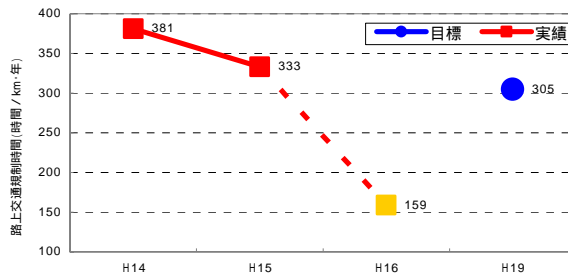
【 成 果 ( 指 標 ) 】

事業・施策により目指すべき成果（指標）を以下に示します。

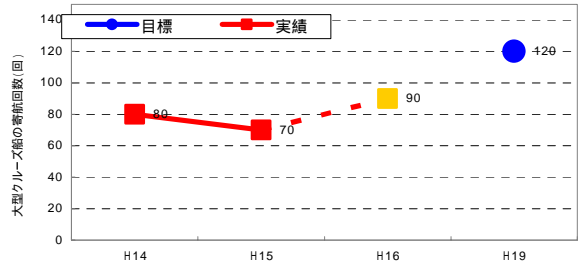
【 指 標 】		H15 (実績)	H16 (見込み)	H19 (目標)
道路渋滞による損失時間	県道以上	- 百万人・時間 / 年	- 百万人・時間 / 年	59百万人・時間 / 年
	【 渋滞モニタリング区間】	22.0百万人・時間 / 年	22.0百万人・時間 / 年	22.2百万人・時間 / 年
沖縄都市モノレール利用客数 【平成15年度は目標値】		31,350 人 / 日	30,405 人 / 日	35,400 人 / 日
日常生活の中心となる都市まで、30分以内で安全かつ安定的に走行できる人の割合		62.8 %	63.1 %	65.7 %
道路上において行われる工事（路上工事）に伴う年間の交通規制時間		333 時間 / km・年	159 時間 / km・年	H14実績値に対して約2割削減
復元・創出された砂浜の面積		約 67ha	約 76ha	約 90 ha
沖縄の港湾への大型クルーズ船の寄港回		約 70 回	約 90 回	約 120 回

数			
都市公園の整備	7.9 m <sup>2</sup> /人	8.0 m <sup>2</sup> /人	約 12 m <sup>2</sup> /人
無電柱化整備率	42 %	54 %	77 %

「道路上において行われる工事（路上工事）に伴う年間の交通規制時間」の経年変化



「沖縄の港湾への大型クルーズ船の寄港回数」の経年変化



(注) 指標の達成状況に関する注釈

【 指 標 】	注 釈
道路渋滞による損失時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県道以上全ての区間を対象とし、H19年度の目標値を検討したものの、毎年度の実績、目標値の解析は困難なため、渋滞モニタリング区間（県道以上の約8%）を対象に、毎年度の実績、目標値のフォローアップを行う。</li> <li>・ H16（見込み）については、達成度報告書の公表（H17.7 予定）に向け計測中であり、H16.8 時点（業績計画書）における目標値</li> </ul>
沖縄都市モノレール利用客数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H16 はH17.3.17 までの実績</li> </ul>
日常生活の中心となる都市まで、30分以内で安全かつ安定的に走行できる人の割合（%）	H16(見込み)については、達成度報告書の公表(H17.7 予定)に向け計測中であり、H16.8 時点(業績計画書)における目標値
無電柱化整備率	インフラ整備迄は指標管理しているが、電線管理者による電柱撤去、入溝は対象としていない。

## 『安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）』

### 【平成17年度の完成・供用、新規事業】

#### （直轄事業）

名護市の羽地大川水系羽地大川において、洪水調節、既得取水の安定化及び河川環境保全等のための流量の確保、かんがい用水及び水道水の供給を目的に整備を推進してきた「**羽地ダム**」を供用します。（P32）【河川】

#### （補助事業）

主要地方道 平良城辺線 電線共同溝整備 【新規】（再掲）（P21）

伊平屋村の中の川水系シチフ川において、洪水調節、既得取水の安定化及び河川環境保全等のための流量の確保、水道水の供給を目的に整備を推進してきた「**我喜屋ダム**」を供用します。（P33）【河川】

沖縄市の比謝川水系比謝川において、浸水被害防止を目的に緊急整備を進めている「**比謝川の緊急対策特定区間**」の**暫定改修完成**を目指します。（P34）【河川】

宜野湾市の牧港川水系宇地泊川において、土砂災害等の災害防止を目的に整備を推進してきた「**宇地泊川通常砂防事業**」の**完成**を目指します。（P35）【河川】

佐敷町小谷地区において、土砂災害等の災害防止を目的に「**総合流域防災事業（小谷地区地すべり対策）**」の整備に**新規**に着手します。（P36）【河川】

国頭村の浜海岸において、津波高潮の災害防止を目的に整備を推進してきた「**浜海岸高潮対策事業**」の**完成**を目指します。（P37）【河川】

近年、浸水被害の多発している**比謝川及び小波津川**において、危機管理対応力の向上を図るため、**総合流域防災事業**において**浸水想定区域図**作成に必要な諸調査を実施します。（P38）【河川】

#### 【継続事業】

代表的な継続事業（直轄事業）	大保ダム	（P39）
	那覇第2地方合同庁舎	（P40）
	一般国道58号座津武防災	（P41）
	一般国道329号石川地区電線共同溝（再掲）	（P29）

## 那覇港国際海上コンテナターミナル

整備事業（再掲）（P 1 8）

（補助事業） 国場川改修

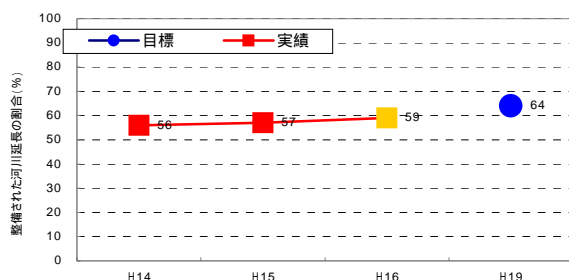
（P 4 2）

### 【成 果（指 標）】

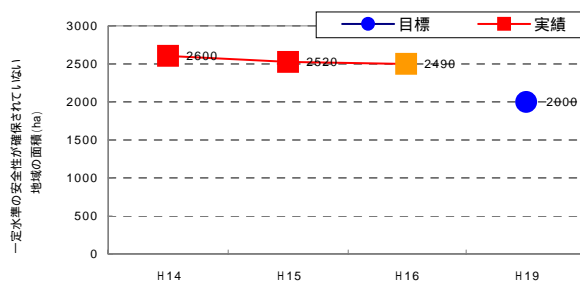
事業・施策により目指すべき成果（指標）を以下に示します。

【 指 標 】	H15（実績）	H16（見込み）	H19（目標）
ダムによる安定供給可能人口	約 84万人	約 88万人	約 88万人
洪水氾濫防止のために整備された河川の延長の割合	約 57%	約 59%	約 64%
床上浸水を緊急に解消すべき戸数	約 42戸	約 42戸	約 0戸
土砂災害から保全される戸数、うち災害時要請援護者関連施設数	約 7,400戸 14施設	約 7,500戸 17施設	約 7,700戸 21施設
津波、高潮による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積	約 2,520ha	約 2,490ha	約 2,000ha
沖縄における耐震強化岸壁の必要量に対する現状の割合	20%	30%	40%
重要港湾において不正進入を防止する施設を完備している外航船用の公共港湾施設の割合	0%	100%	100%
沖縄本島における台風等による通行規制で孤立する人口	2,600 人	2,600 人	1,900 人
道路交通における死傷事故率	72.9 件 / 億台キ 口	66.5 件 / 億台キ 口	62.4件 / 億台キ口
規格の高い道路を使う割合	7 %	7 %	7 %
無電柱化整備率（再掲）	42 %	54 %	77 %

「洪水氾濫防止のために整備された河川の延長の割合」の経年変化



「津波、高潮による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積」の経年変化



(注) 指標の達成状況に関する注釈

【 指 標 】	注 釈
ダムによる安定供給可能人口	羽地ダム及び我喜屋ダムのH16年度完成により、H19年度の目標値は達成するが、将来の水需要増加に対応するため、大保ダムなどの事業を継続促進しているところ。
床上浸水を緊急に解消すべき戸数	比謝川における指標であり、暫定改修を進めているが、一連の区間が完了するまでは効果が発現しないため、H16年度には指標は改善しない。
沖縄本島における台風等による通行規制で孤立する人口	H16(見込み)については、達成度報告書の公表(H17.7 予定)に向け計測中であり、H16.8時点(業績計画書)における目標値
道路交通における死傷事故率	・H14実績値 69.3件/億台キロの1割削減 63件/億台キロ ・達成度報告書の公表(H17.8 予定)に向け算出中であり、H16.8時点(業績計画書)における目標値
規格の高い道路を使う割合	H16(見込み)については、達成度報告書の公表(H17.7 予定)に向け計測中であり、H16.8時点(業績計画書)における目標値

『沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出(環境)』

【平成17年度の完成・供用、新規事業】

(補助事業)

宇座海岸環境整備事業【完成】 (再掲) (P23)

【継続事業】

代表的な継続事業(補助事業) 中城湾南部流域下水道 (P43)

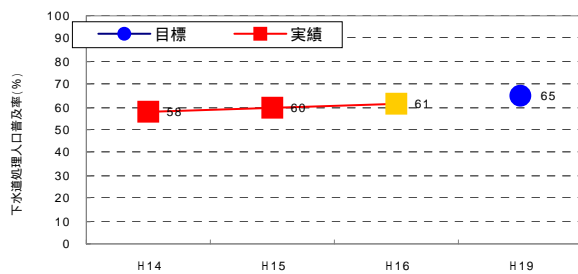
【成果(指標)】

事業・施策により目指すべき成果(指標)を以下に示します。

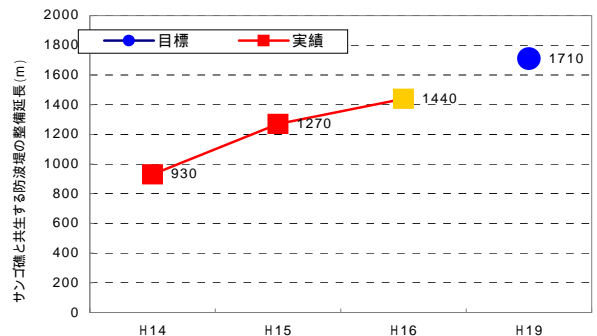
【 指 標 】	H15(実績)	H16(見込み)	H19(目標)
下水道処理人口普及率	60%	61%	65%
砂防施設により赤土砂等流出を軽減する箇所数	7箇所	8箇所	8箇所
失われた自然の水辺のうち、回復可能な自然の水辺の中で再生した水辺の割合	約 28%再生	約 31%再生	約 40%再生
夜間騒音要請限度達成率	92%	92%	94%
サンゴ礁と共生する防波堤の整備延長	約 1,270m	約 1,440m	約 1,710m
グリーン改修整備件数	5件	7件	10件

平成17年度目標建設発生土有効利用率	-	78 %以上	80%以上
平成17年度目標アスファルトコンクリート塊再資源化率	-	92 %以上	98%以上
平成17年度目標コンクリート塊再資源化率	-	96 %以上	96%以上

「下水道処理人口普及率」の経年変化



「サンゴ礁と共生する防波堤の整備延長」の経年変化



(注) 指標の達成状況に関する注釈

【 指 標 】	注 釈
夜間騒音要請限度達成率	H16 (見込み) については、達成度報告書の公表 (H17.8予定) に向け算出中であり、H16.8時点 (業績計画書) における目標値
グリーン改修整備件数	従来、官庁営繕所管施設のグリーン化は、「グリーン改修達成度」にて達成率を示していたが、平成17年2月の「営繕グリーン化推進計画」の策定に合わせ、改修整備件数により示すこととした。
平成17年度目標建設発生土有効利用率	・ H15 実績値は、全国的にH17年度に集計・解析作業予定。
平成17年度目標アスファルトコンクリート塊再資源化率	同上。
平成17年度目標コンクリート塊再資源化率	同上。

『特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）』

【平成17年度の完成・供用、新規事業】

（補助事業）

- 主要地方道 平良城辺線 電線共同溝整備 【新規】（再掲） (P21)
- 我喜屋ダム【供用】（再掲） (P33)
- 宇座海岸環境整備事業【完成】（再掲） (P23)
- 東風平町において良質な住宅を供給することにより、市民の居住水準の向上を図ることを目的に「県営屋宜原団地」の完成を目指します。 (P44) 【住宅】

【継続事業】

- 代表的な継続事業（直轄事業） 一般国道329号石川地区電線共同溝（再掲） (P29)
- （補助事業） 石垣港離島ターミナル再開発事業 (P45)

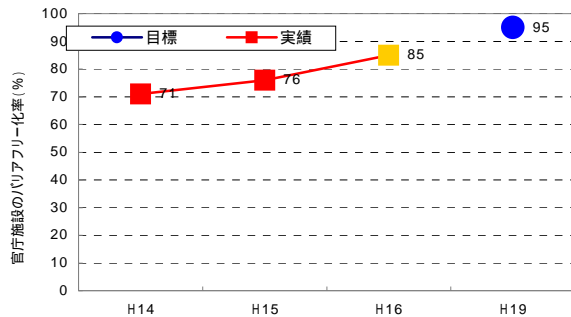
【成果（指標）】

事業・施策により目指すべき成果（指標）を以下に示します。

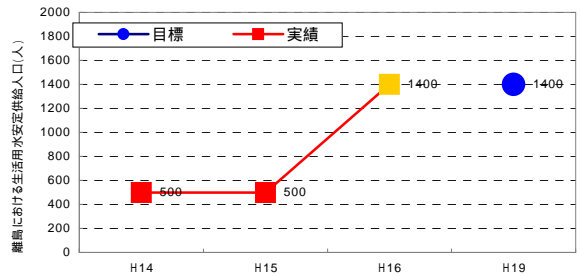
【 指 標 】	H15（実績）	H16（見込み）	H19（目標）
土地区画整理事業の完了	52 地区	52 地区	約58地区
1日当たりの平均利用者数が5,000人以上の旅客施設の周辺等の主な道路のバリアフリー化割合	27%	40 %	76 %
より安全に港を利用できる利用者数	約 300万人 / 年	約 380万人 / 年	約 450万人 / 年
港湾緑地の整備面積	約 30ha	約 30ha	約 70ha
復元・創出された砂浜の面積（再掲）	約 67ha	約 76ha	約 90ha
人々が海辺に親しむことの出来る海岸延長	約 572km	約 574km	約 580km
官庁施設のバリアフリー化率	76 %	85 %	95%
離島における生活用水を安定的に確保する	約500人分 / 日	約 1,400 人分 / 日	約1,400人分 / 日
ボランティアサポートプログラムの参加団体数	25団体	27団体	増加
無電柱化整備率（再掲）	42 %	54 %	77 %



「官庁施設のバリアフリー化率」の経年変化



「離島における生活用水を安定的に確保する」の経年変化



(注) 指標の達成状況に関する注釈

【 指 標 】	注 釈
土地区画整理事業の完了	土地区画整理事業の完成による市街地への居住地域の拡大目標
より安全に港を利用できる利用者数	浮棧橋の整備進捗に加え、利用者数の伸び率が大きく上昇したことにより、効果が早期に発現された。
港湾緑地の整備面積	中城湾港などで港湾緑地の整備を進めているが、一連の施設が完了するまで効果が発現しない。
離島における生活用水を安定的に確保する	我喜屋ダムの H16 年度完成により、伊平屋島の生活用水は確保され H19 年度の目標値は達成するが、引き続き離島の生活用水確保のため、儀間川総合開発事業【儀間・タイ原ダム(久米島)】を継続促進しているところ。
官庁施設のバリアフリー化率	整備予定の対象施設が、統合、廃止により減少したため、率の分母が減少し、H19 目標値が増加。